

いざというとき、どうするか 地震災害から身を守る

本市には日奈久断層帯があります。日奈久断層帯は地震を引き起こすひずみが蓄積している可能性があると言われており、地震に対して日ごろからの心構えと備えが大切です。

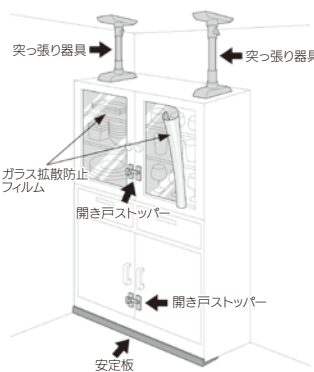
問合せ 危機管理課 ☎33-4112

日頃の備え

備えることで危険は減らせます

【家具の固定】

○家具の固定は、今すぐできる地震対策です。家具が転倒や移動しないようにしっかりと固定しましょう。



○家の中に閉じ込められないように、家具の向きや配置を工夫しましょう。

○ガラスには拡散防止フィルムを張りましょう。

○火災発生に備えて、消火器を準備しておきましょう。

○住宅の耐震化

○耐震診断を受けて、必要な補強をしておきましょう。

○家族間での話し合い

○離れ離れたになった場合の安否の確認方法を決めておきましょう。

○避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

○防災に関する講演会などに家族で参加しましょう。

○水・食料などの備蓄

○災害発生直後は支援物資が届くまで時間がかかることを想定し、最低3日分の水(目安は1日3リットル)と食料を備えておきましょう。

地震が起こったら

「身の安全」を最優先に行動を

【屋内にいるとき】

○揺れを感じたら、

○まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。

○揺れが収まるまでは、慌てて外へ飛び出さず、

○揺れが収まったら、慌てずに火の始末をしましょう。



○割れたガラスなどを踏んでけがをしないように、スリッパや靴を履いて移動しましょう。

○かばんや手荷物などで頭を保護し、公園や空き地など落下物の危険のない安全な場所へ避難しましょう。

○徐々に車を止めましょう。ゆっくりと道路の左側に車を止めましょう。

○車を離れるときは、キーをつけたままにして、徒歩で避難しましょう。

○客席に座っているときは、頭を保護して姿勢を低くしましょう。

○立っているときは、転倒しないようにつり革や手すりにつかまりましょう。

○車やバスに乗っているとき

○客席に座っているときは、頭を保護して姿勢を低くしましょう。

○立っているときは、転倒しないようにつり革や手すりにつかまりましょう。

○車やバスに乗っているとき

○客席に座っているときは、頭を保護して姿勢を低くしましょう。

○立っているときは、転倒しないようにつり革や手すりにつかまりましょう。

熊本シェイクアウト訓練

11月5日の津波防災の日に合わせて、災害対応の基本となる自助の強化を図るため、国と連携して県民総参加型の地震対応訓練「熊本シェイクアウト訓練」を実施します。

とき 11月5日(木) 午前10時～1分程度

訓練開始は県防災情報メールサービスでお知らせします。

内容

メール配信後、「しゃがんで、姿勢を低くする」「頭や身体を守る」「揺れが収まるまで動かず待つ」を行ってください。

プラスワンの取り組みの例

シェイクアウト訓練後にはプラスワンの取り組みも行ってくださいね。

○防災情報や5段階の警戒レベルの確認

○家族や友人と安否確認のテスト

○防災マップなどを見て、避難場所や避難経路を確認

○持ち出し品の確認

○県ホームページ「防災情報くまもと」の確認

